

家庭学習アイデアBOOK



平成29年4月1日

西部教育事務所

【 もくじ 】

はじめに	1
------	---

第1章 家庭学習を組織的な取組とするために

○ 目的を明確にしましょう	3
○ 推進のための担当を明確にしましょう	4
○ 発達段階に応じた内容と量を考えましょう	5
○ 授業と家庭学習のサイクル化を図りましょう	7
○ 共通理解・共通の指導を行いましょ	9

第2章 「家庭学習の手引き」の作成・見直しのために

○ 家庭学習の目的や意義を伝えましょ	17
○ 学校として求める学習時間のめやすを伝えましょ	19
○ 生活リズムの中に学習を位置付けるよう 働きかけましょ	20
○ 家庭学習の進め方を明確にしましょ	22
○ 家庭学習の心得を伝えましょ	24
○ 保護者にお願いしたいことを載せ、協力を得ましょ	27

参考資料

○ 高い成果を上げている学校に共通する7つの特徴	29
○ 家庭学習見直しの手引き	31
○ 読書活動の推進について	32

はじめに

子どもたちの学力向上を図るには、「授業の充実」が一番の柱ではあるものの、家庭学習も欠かせません。今回、西部教育事務所では、平成21年度に作成した「家庭学習アイデアBOOK」を改訂することとしました。

平成26年度文部科学省委託研究「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究（効果的な指導方法に資する調査研究）」（お茶の水女子大学）において、高い成果を上げている学校に共通する7つの特徴の中の1つとして家庭学習指導が取り上げられています。

しかしながら、どの学校でも家庭学習指導をしているにもかかわらず、「効果のある学校」とそうでない学校が存在するのも事実です。各校における取組を効果のある取組とするために、今の取組を再検証してもらいたいと思います。

各学校で「復習・予習→授業→復習・予習」のサイクル化が図られ、「効果的な家庭学習指導」とするための手掛かりとして、ご活用いただきたいと思います。

西部教育事務所

この家庭学習アイデアBOOKでは

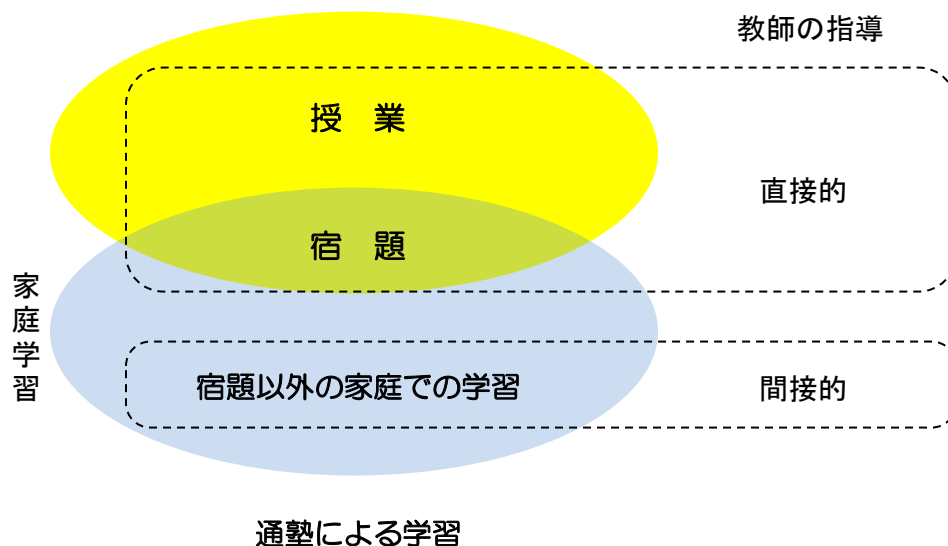
「家庭学習」「宿題」を以下のように捉えています。

家庭学習については、いくつかの捉え方があると思いますが、このアイデアBOOKでは、家庭学習を「宿題」と「宿題以外の家庭での学習」として捉え、以下のように整理して考えることとします。

「宿題」は、教師の直接的な指示・管理のもとで行われる家庭学習とし、どの児童生徒にも一様に課される学習課題とします。「宿題」は、授業で学習した内容の理解を深め、定着や習熟を図るものであったり、次時の授業の予習であったりと、授業とのサイクル化を意図した内容が課されることが多く、授業展開にも大きく関係するものであると考えられます。

「宿題以外の家庭での学習」は、児童生徒の自主的な学習であり、教師による内容や提出期日の直接的な指示・強制の対象ではないものとします。しかし、自主的な学習としてふさわしい内容の例示やその進め方、家庭学習の計画づくりの指導やその学習への励ましなど、児童生徒の発達段階に応じた教師の指導性の発揮が期待され、必ずしも教師の無関与を前提とした学習ではないと考えられます。

*このアイデアBOOKでは、自主学習（見つけ）ノート等、内容・量は指定していなくても、必ず提出を指示している場合は「宿題」としています。また、通塾による学習は「宿題以外の家庭での学習」に含めていません。



第 1 章

家庭学習を組織的な取組とするために

「学校としての取組」であることが重要です！

ここでは「組織的な取組とするために」として、各学校での家庭学習の取組を見直すためのヒントを紹介します。

また、巻末の資料「家庭学習見直しの手引き」も併せてご活用ください。



目的を明確にしましょう

学校としての共通理解を図り、組織的な取組を行うための第一歩は、目的を明確にすることです。家庭学習を通して、児童生徒にどんな力を付けたいのかを明確にしておきましょう。

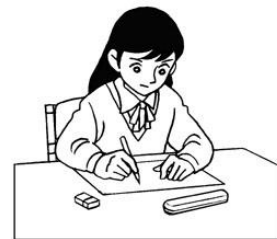
家庭学習を通して育てたい児童生徒の姿（例）

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得した児童生徒
- 家庭学習の習慣や自分で学習する力を身に付けた児童生徒
- 時間を有効に使うことのできる児童生徒
- 新たな疑問を解決したり、難問に挑戦したりしようとする児童生徒



家庭学習の目的（例）

- 学習内容（基礎・基本）の定着
- 学習習慣（予習・復習）の定着
- 授業と家庭学習のリンク・サイクル化
- 学習意欲（自主的に学習する力）の向上 等

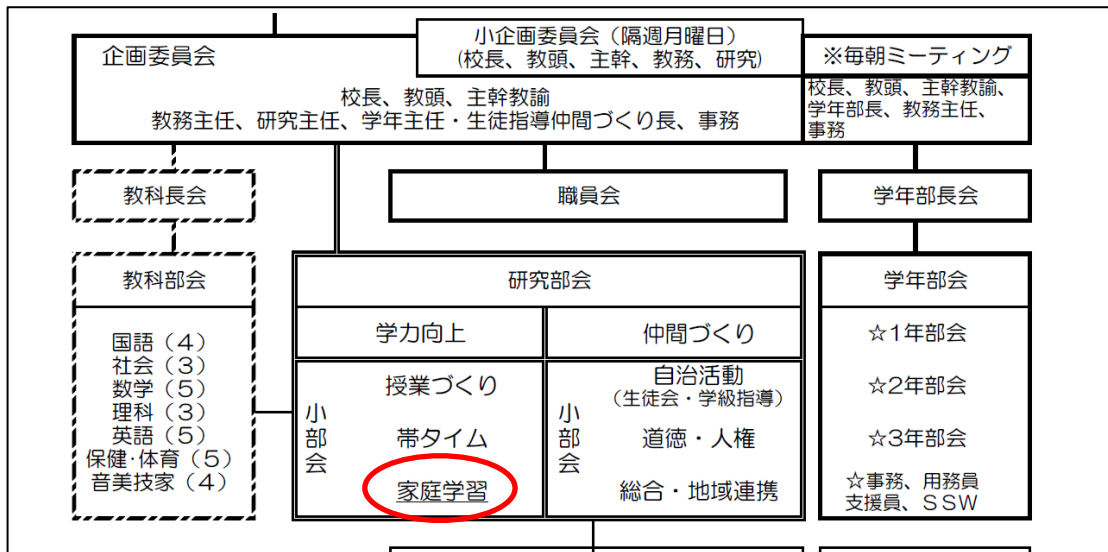


推進のための担当を明確にしましょう

学校が組織的に家庭学習を推進していくためには、全教員が一体となって取り組む体制を整える必要があります。そのために家庭学習を推進する担当教員やチームを明確に位置付けることが大切です。

(参考事例) 学校組織への位置付け〔中村中学校〕

* 運営・組織図の一部



- 学力向上部会
 - ☆授業づくり (〇〇、〇〇、〇〇、〇〇)
 - ☆帯タイム (〇〇、〇〇、〇〇)
 - ☆家庭学習 (〇〇、〇〇、〇〇)
- 仲間づくり部会
- ...

* 分掌担当一覧表の一部 (実際には担当者名が入ります。)

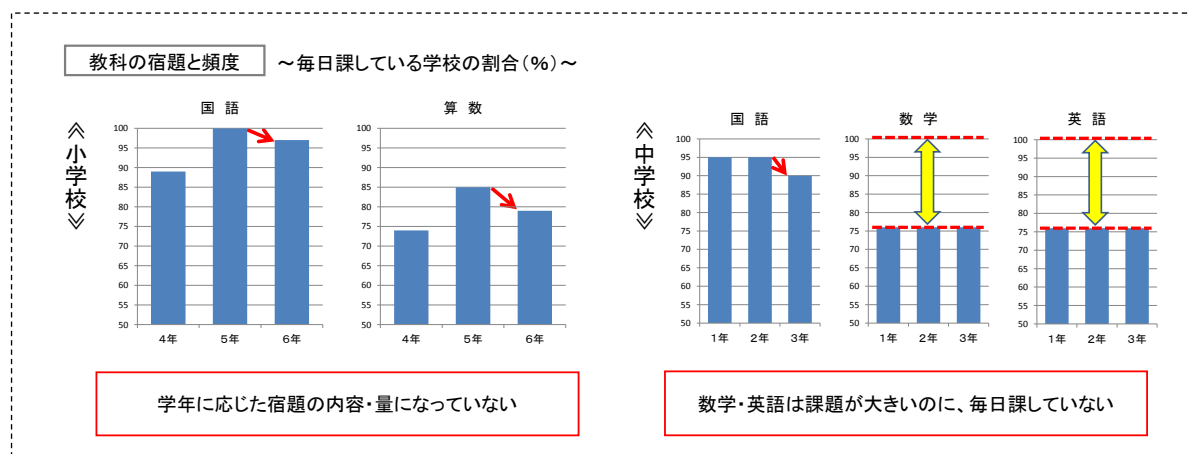
発達段階に応じた内容と量を考えましょう

家庭学習は、学校の宿題と自分で内容を決めて行う学習に区別できます。

ただ、自分で内容を決めて行う家庭学習では、個人の興味・関心や得意・不得意等により、教科や内容の偏りが生じてしまうことがあります。もちろん、そのことに対する指導も大切ですが、家庭学習のすべてを児童生徒の自主性に任せるだけでは、効果的取組にならないことも予想されます。

そこで、県や市町村、学校の課題を踏まえ、教師が宿題として、発達段階に応じた適切な内容の宿題を一定量課すことも重要となります。

家庭学習状況調査（H28.5実施）において、西部管内では次の実態がありました。



チェックしてみましょう！

- < 内容 > 繰り返したり、続けたりすることで効果が上がる内容ですか。
- 思考力・創造力が必要な内容ですか。
- 次時の授業への期待が膨らむ内容ですか。 等
- < 量 > 学校で定める家庭学習時間の目安に見合った量ですか。
- 学年間や教科間で調整した量ですか。
- 児童生徒の生活リズムを考えた量ですか。
- 期限や休日（長期休業を含む）等を考えた量ですか。 等

(参考事例1) 学年段階別の家庭学習の手引き〔宿毛小学校〕

かていがくしゅうの手びき

すくも小学校
1・2年生
30分以上はがんばろう

べんきょうをはじめる前に

- ・テレビをけてしゅう
- ・つくえの上をかたづけ
- ・今日はどんなべんきょう

◇先生から出されたしゅくだい
◎他にもこんなべんきょうを

【国語】

- 1 いままで
- 2 カタカナの
- 3 教科書の文
- 4 図書の本を
- 5 日記を書い

【算数】

- 1 今日なら
- 2 計算もんだ
- 3 お話のもの
- 4 計算ドリル
- 5 教科書のれ

【その他】

- 1 生きものし
- 2 きせつの草

べんきょうがおわったら

- ・えんぴつをけずりまし
- ・あしたのじかんわりを

家庭学習の手引き

宿毛小学校
3・4年生
45分以上はがんばろう

勉強を始める前に

- ・テレビを消し、集中してやりましよう
- ・つくえの上をかたづけましよう
- ・今日はどんな勉強をするのか

◇先生から出された宿題をしまし
◎他にもこんな勉強をしまし

【国語】

- 1 漢字の練習をし
- 2 わからないこと
- 3 教科書の文を写
- 4 「ことば」や
- 5 新聞やテレビの
- 6 ローマ字でこと
- 7 読書をしましよう
- 8 読んだ本の感想
- 9 日記や作文を書

【算数】

- 1 今までにしたこ
- 2 テストやプリン
- 3 自分で問題を作

家庭学習の手引き

宿毛小学校
5・6年生
1時間以上はがんばろう

勉強を始める前に

- ・テレビを消し、集中してやりましよう。
- ・机の上を片付けましよう。
- ・今日はどんな勉強をするのか決めましよう。

◇先生から出された宿題をしまし
◎他にもこんな勉強をしまし

【国語】

- 1 読書をし、
- 2 漢字の練習をし
- 3 漢字の練習をし
- 4 漢字の練習をし
- 5 漢字の練習をし
- 6 漢字の練習をし
- 7 漢字の練習をし
- 8 漢字の練習をし
- 9 漢字の練習をし

【算数】

- 1 漢字の練習をし
- 2 漢字の練習をし
- 3 漢字の練習をし
- 4 漢字の練習をし
- 5 漢字の練習をし
- 6 漢字の練習をし
- 7 漢字の練習をし
- 8 漢字の練習をし
- 9 漢字の練習をし

(参考事例2) 特別支援学級の家庭学習の手引き〔三浦小学校〕

ひまわりのかていがくしゅう

これは、おうちでのべんきょうのしかたをまとめた
ものです。つくえの前にはって、おうちのひとといっ
しょに見て、がんばりましよう。

みうらしょうがっこう
 じかんのめやす
30分以上


さあ はじめよう!

- 学校からもらったプリントをおうちの人にわたします。
- テレビやゲームのスイッチを消します。
- べんきょうするばしょを、かたづけます。
- くらいときは明かりをつけます。

べんきょうしよう

まず、「しゅくだい」をしましよう。
 ※せんせいとのやくそくをまもってやりましよう。

こんなこともやってみよう



授業と家庭学習のサイクル化を図りましょう

家庭学習が次の授業にどのようにつながるのかを、児童生徒自身が理解しておくことは大切です。そのことにより家庭学習をする必然性が生まれ、児童生徒の家庭や授業での学びが主体的になり、量・質ともに高まっていきます。

授業と家庭学習のサイクル化（案1）

□教師の活動 ○児童生徒の活動

- 教師が次の授業へ向けてのワンポイントの課題や視点を与える。
- ↓
- 課題に基づいた家庭学習を行うことで、新たな興味や関心、知識を持つ。
- ↓
- 児童生徒の家庭学習を授業の中で生かす。
- ↓
- 授業内容の理解が進み、興味・関心も増す。



- * 次の授業に臨む児童生徒の望ましい準備が行われる。
- * 効果的で多様な学習展開が構成できる。

授業と家庭学習のサイクル化（案2）

□教師の活動 ○児童生徒の活動

- 教師が次の単元や授業内容を基に、関連既習事項の復習を宿題として出す。
- ↓
- 次の単元や授業で必要とする既習の知識・技能の復習を行う。
- ↓
- 授業において、既習事項の想起・確認に時間を取ったり、児童生徒が器具の操作方法を間違ったりすること等により生じる時間のロスをなくすることができる。



- * 授業における時間配分の改善が図られる。
(本時の目標達成のための活動に、時間をかけることができる。)

(指導例) 中学2年数学

- * (連立方程式の学習期間中に) 次に一次関数の単元に入ることを見据え、考え方としての関連が深い 1年 比例 の復習問題を宿題とする。

(指導例) 中学理科

- * 次の授業でガスバーナーや顕微鏡を生徒が久しぶりに使うこととなるため、事前にそれらの操作方法の復習を宿題とする。

(参考事例1) 家庭学習とのリンクを位置付けた単元構想(学習指導案) [中村小学校]

第二次 6時間目(7/12)

(1) 目標 おすすめの物語の続きの場面ごとに出来事や人物の行動を整理して、あらすじに必要な大事な言葉と起きた出来事確かめ、『あらすじカード』に書くことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点(○) 評価(☆) 支援(※)						
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>物語の『あらすじカード』を書くために</p> <p>おすすめの物語の中心人物の行動にそって出来事を整理しよう。</p>	<p>○前時の「国語日記」を紹介し、児童の意欲化を図る。</p>						
<p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) 続きの場面ごとの出来事や人物の行動を確かめ抜き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれが大事なことばかな。 ・二場面の出来事…だれ、どうして、どうなった。 ・三場面…だれ、どうして、どうなった。 ・〇場面…だれ、どうして、どうした… <p>(2) 人物の行動から、中心人物のど気持ちに分かるか想像させる。</p> <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) あらすじに必要な大事な言葉を出したり、線をひかせたりして全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の行動にそった言葉かな。 ・大事な言葉を書いているね。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>ノートにふりかえりを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の行動に沿って大事な出来事をだすといいんだな。 ・中心人物の気持ちの変化もあらすじが分るやわいから大事な言葉にしよう。 <p>次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習</p> <p>「はりねずみと金貨」の全文を読んで、あらすじに必要な大事な言葉ももう一度確かめ絶対必要な所やさらに付けたしたい所を青で書いてくる。</p>	<p>第二次 7時間目(8/12)</p> <p>(1) 目標 「はりねずみと金貨」のあらすじに必要な大事な言葉を使って、あらすじをまとめることができる。</p> <p>(2) 展開</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">主な学習活動と予想される児童の反応</th> <th style="width: 50%;">指導上の留意点(○) 評価(☆) 支援(※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>4年生に『あらすじカード』で紹介するために</p> <p>大事な言葉を使って物語のあらすじをまとめよう。</p> </td> <td> <p>○これまでにまとめた『あらすじカード』の出来事ごとを基に、「はりねずみと金貨」のあらすじをまとめる事確かめ、目的意識を持たせる。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) 『あらすじカード』に書いた出来事を読み返し、出来事ごとの省いたら長いところやあらすじに必要な大事な言葉を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物がしたことは大事。 ・色々な人物がしてくれたことは大事かな。 <p>(2) あらすじに必要な大事な言葉に注意して物語のあらすじをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の行動に沿って、出来事をつなげてまとめる。 ・つなげると長くなりそうだな。 ・中心人物の気持ちが変わっているよ。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) 書いたあらすじを交流し、アドバイスし合う。</p> <p>ペア→全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を使っているね。 ・出来事をつなげてかいているからあらすじが分かりやすいよ。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>ノートにふりかえりを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇君の説明は、初めに描くものが分かりやすかった。 ・アドバイスで言ってくれたから、分かりやすく説明することができた。 <p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習</p> <p>おすすめの物語のあらすじに必要な大事な言葉ももう一度確かめ絶対必要な所やさらに付けたしたい所を青で書いてくる。</p> </td> <td> <p>○『あらすじカード』に書いた出来事に家庭学習でチェックを入れているところを確認する。</p> <p>○あらすじに必要なだいな言葉を使って、物語の始めと終わりの変化を意識して出来事をつなげながらまとめさせる。</p> <p>※同じ言葉は何度も使わないようにし、あらすじに必要な言葉をつなげてどんなお話分かるように書かせる。</p> <p>○ペアにさせ理由を言わせながら伝え合う。</p> <p>○あらすじに必要な大事な言葉を使っているか、物語の始めと終わりの変化を意識して出来事をつなげながらあらすじをまとめているかを意識させ、手直しさせる。</p> <p>☆あらすじに必要な大事な言葉を使って、あらすじをまとめている。</p> <p>【読】(あらすじカード、発言)</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○次時は、あらすじに必要な大事な言葉を使って、おすすめの物語のあらすじをまとめる学習をすることを伝える。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点(○) 評価(☆) 支援(※)	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>4年生に『あらすじカード』で紹介するために</p> <p>大事な言葉を使って物語のあらすじをまとめよう。</p>	<p>○これまでにまとめた『あらすじカード』の出来事ごとを基に、「はりねずみと金貨」のあらすじをまとめる事確かめ、目的意識を持たせる。</p>	<p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) 『あらすじカード』に書いた出来事を読み返し、出来事ごとの省いたら長いところやあらすじに必要な大事な言葉を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物がしたことは大事。 ・色々な人物がしてくれたことは大事かな。 <p>(2) あらすじに必要な大事な言葉に注意して物語のあらすじをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の行動に沿って、出来事をつなげてまとめる。 ・つなげると長くなりそうだな。 ・中心人物の気持ちが変わっているよ。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) 書いたあらすじを交流し、アドバイスし合う。</p> <p>ペア→全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を使っているね。 ・出来事をつなげてかいているからあらすじが分かりやすいよ。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>ノートにふりかえりを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇君の説明は、初めに描くものが分かりやすかった。 ・アドバイスで言ってくれたから、分かりやすく説明することができた。 <p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習</p> <p>おすすめの物語のあらすじに必要な大事な言葉ももう一度確かめ絶対必要な所やさらに付けたしたい所を青で書いてくる。</p>	<p>○『あらすじカード』に書いた出来事に家庭学習でチェックを入れているところを確認する。</p> <p>○あらすじに必要なだいな言葉を使って、物語の始めと終わりの変化を意識して出来事をつなげながらまとめさせる。</p> <p>※同じ言葉は何度も使わないようにし、あらすじに必要な言葉をつなげてどんなお話分かるように書かせる。</p> <p>○ペアにさせ理由を言わせながら伝え合う。</p> <p>○あらすじに必要な大事な言葉を使っているか、物語の始めと終わりの変化を意識して出来事をつなげながらあらすじをまとめているかを意識させ、手直しさせる。</p> <p>☆あらすじに必要な大事な言葉を使って、あらすじをまとめている。</p> <p>【読】(あらすじカード、発言)</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○次時は、あらすじに必要な大事な言葉を使って、おすすめの物語のあらすじをまとめる学習をすることを伝える。</p>
主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点(○) 評価(☆) 支援(※)						
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>4年生に『あらすじカード』で紹介するために</p> <p>大事な言葉を使って物語のあらすじをまとめよう。</p>	<p>○これまでにまとめた『あらすじカード』の出来事ごとを基に、「はりねずみと金貨」のあらすじをまとめる事確かめ、目的意識を持たせる。</p>						
<p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) 『あらすじカード』に書いた出来事を読み返し、出来事ごとの省いたら長いところやあらすじに必要な大事な言葉を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物がしたことは大事。 ・色々な人物がしてくれたことは大事かな。 <p>(2) あらすじに必要な大事な言葉に注意して物語のあらすじをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の行動に沿って、出来事をつなげてまとめる。 ・つなげると長くなりそうだな。 ・中心人物の気持ちが変わっているよ。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) 書いたあらすじを交流し、アドバイスし合う。</p> <p>ペア→全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を使っているね。 ・出来事をつなげてかいているからあらすじが分かりやすいよ。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>ノートにふりかえりを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇君の説明は、初めに描くものが分かりやすかった。 ・アドバイスで言ってくれたから、分かりやすく説明することができた。 <p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習</p> <p>おすすめの物語のあらすじに必要な大事な言葉ももう一度確かめ絶対必要な所やさらに付けたしたい所を青で書いてくる。</p>	<p>○『あらすじカード』に書いた出来事に家庭学習でチェックを入れているところを確認する。</p> <p>○あらすじに必要なだいな言葉を使って、物語の始めと終わりの変化を意識して出来事をつなげながらまとめさせる。</p> <p>※同じ言葉は何度も使わないようにし、あらすじに必要な言葉をつなげてどんなお話分かるように書かせる。</p> <p>○ペアにさせ理由を言わせながら伝え合う。</p> <p>○あらすじに必要な大事な言葉を使っているか、物語の始めと終わりの変化を意識して出来事をつなげながらあらすじをまとめているかを意識させ、手直しさせる。</p> <p>☆あらすじに必要な大事な言葉を使って、あらすじをまとめている。</p> <p>【読】(あらすじカード、発言)</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>○次時は、あらすじに必要な大事な言葉を使って、おすすめの物語のあらすじをまとめる学習をすることを伝える。</p>						

共通理解・共通の指導を行いましょう

教師一人一人の家庭学習に対する考え方が違い、それぞれがバラバラの取組を行うと、児童生徒も混乱し、効果的な成果を上げることは期待できません。

学校としての共通理解を図り、組織的な取組（共通の指導）を行いましょう。

共通理解するのは誰と誰？

もちろん、学校としての組織的な取組とするために、まずは教師間の共通理解が不可欠です。

しかし、効果的な家庭学習とするためには、児童生徒自身が「なぜ家庭学習が必要なのか」、「どんな学習をすればよいのか」「どのようにすればよいのか」を理解しておく必要があります。つまり、児童生徒にそれらを丁寧に伝え、共通理解を図っておくことが大切です。

また、児童生徒の家庭学習の実施、充実には、家庭の方の声掛けや点検等による協力が不可欠となります。そのため、学校でどのような宿題を出しているのか、どのような家庭学習を目指しているのか等を伝え、保護者との共通理解を図ることが大切です。



共通理解を図るために

「見える化」による共通理解を

「家庭学習の手引き」の作成・配布は、教師間、児童生徒、保護者との共通理解を図るための最も有効なツールと考えられます。（これについては、この後、詳細に取り上げることとします。）

また、各学年や各教科での宿題を一覧表にしたり、家庭学習の月別予定表を作成したりすることで、全体像の把握ができ、発達段階に応じた適切な内容や量になっているかも確認できると同時に、それらを児童生徒に配布することで、児童生徒の見通しを持った取組につなげることもできます。

「家庭学習の手引き」の作成・見直しを

多くの学校では、すでに家庭学習の目安時間や取組内容をまとめた「家庭学習の手引き」を作成していることと思います。

家庭学習を確実に学力に結び付けるための「やり方の指導」には、この「家庭学習の手引き」を活用することが効果的であると考えられます。

しかし、せっかく作成していても「何年間も見直しがされていない」「教員すら内容を把握していない」「年度当初に配布したきり」などということはありませんか？

また、作成していない学校は、これを機に作成しましょう。

* 具体的な内容等については、[第2章「家庭学習の手引き」の作成・見直しのために] をご参照下さい。

「家庭学習ガイダンス」の時間を

年度当初の学級のオリエンテーションや宿泊研修の場を利用するなどして、家庭学習の取り組み方について共通確認する時間を設定してみてもはどうでしょうか。

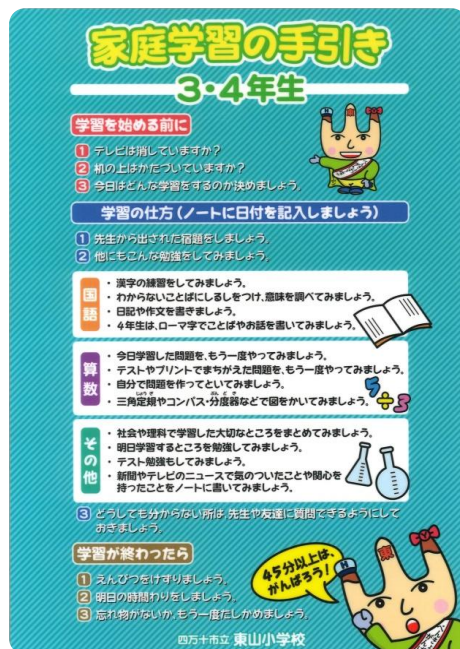
せっかく「家庭学習の手引き」等を作成しても、与えただけでは十分に活用されないことが考えられます。児童生徒への十分な説明を行いましょう。

また、学級懇談や家庭訪問の場を利用するなどして、保護者へも十分な説明を行いましょう。

(参考事例1)

家庭学習の手引き〔東山小学校〕

* 下じきにして配布することで、いつでも、すぐ見えるようにした工夫。



(参考事例2) 家庭学習予定表〔大月中学校〕

第1学年学習計画表(3月)

日	曜	学校での生活	朝学習	部活	毎日の課題	提出日を指定する課題
		行事予定等				
1	水		視写	×	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
2	木		視写	×	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
3	金	1・2年期末テスト	視写	×	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	ライティングシート(火曜提出)
4	土	A日程入試・期末テスト	視写	○	漢字2P、自主学2P、数学ワーク 英語課題	
5	日	A日程入試		○		
6	月	代休		○		
7	火		読書	○	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	ライティングシート(水曜提出)
8	水	クラスマッチ	読書	×	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
9	木	SC	読書	○	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
10	金		読書	○	漢字2P、自主学2P、数学ワーク 英語課題	ライティングシート(火曜提出)
11	土	卒業式	読書	○		
12	日			○		
13	月	卒業式代休		○		
14	火	A日程合格発表 1・2年面談参観日	視写	○	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	ライティングシート(水曜提出)
15	水		視写	×	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
16	木	1・2年面談参観日	視写	○	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
17	金	1・2年面談参観日	視写	○	漢字3P、自主学3P、数学ワーク 英語課題	ライティングシート(火曜提出)
18	土			○		
19	日			○		
20	月			○		
21	火		読書	○	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	ライティングシート(水曜提出)
22	水		読書	×	漢字1P、自主学1P、数学1枚、英語課題	
23	木		読書	○		
24	金	終業式・修了式		○		
25	土			○	春休みの宿題については、「春休みの生活」に書かれています。 計画的に取り組みましょう。	
26	日			○		
27	月			○		
28	火			○		
29	水			○		
30	木			○		
31	金			○		

*上の表以外に、理科、社会などは授業日にワークなどの宿題が出ます。
忘れないように気をつけましょう。



(参考事例3) 家庭学習予定表 [中村西中学校]

学習計画表

11月末(期末週間)～12月(2学期末)

○国語【授業日】
①重要ポイントメモシート3行
②文法・言語事項の振り返り10問
【週末】①小社会1P、
②記述プリント、③語彙プリントP
【単元末】①漢字ワーク

○社会【授業日】
①社会科ワーク
②教科書本読み
【週末】①復習プリント
【単元末】①社会科ワーク
○数学【毎日】①数学プリント
【週末】①復習プリント
【単元末】①数学シート、思考力問題集

○理科【週末】①予習レポート
【単元末】①理科問題集
○英語【毎日】①単語練習2P
【授業日】
①文法ポイントの定着確かめプリント
【週末】①単語練習2Por確かめプリント2枚
【単元末】①基礎徹底シート
①ライティングシート

日	曜	行事予定	帯 タイム	放課後 チャレ レンジ	家庭学習	
					毎日・週末の課題	授業日・単元末の課題
24	木	第2回地域清掃 期末テスト週間			漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	【単元末】
25	金	県音楽研(1年授業研)	理科		○漢字ノート2P、○自主学習2P ○小社会ノート1P、記述プリント、語彙プリント ○数学週末復習プリント	国語:漢字ワーク 英語:基礎徹底シート、ライティングシート 数学:数学シート、思考力問題集
26	土	具同地区防災研修会 幡多地区PTA研究大会			○英単語ノート2Porライティングシート2枚orドリル ○社会復習プリント ○理科予習レポート	社会:社会科ワーク 理科:理科問題集
27	日					
28	月		数学		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
29	火		国語		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	【授業日】
30	水			○	漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	国語:①重要ポイントメモシート3行 ②文法・言語事項の振り返り10問 英語:①文法ポイントの定着確かめプリント 社会:①社会科ワーク、教科書本読み
1	木	期末テスト	数学		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
2	金	期末テスト	国語		○漢字ノート2P、○自主学習2P ○小社会ノート1P、記述プリント、語彙プリント ○数学週末復習プリント	
3	土				○英単語ノート2Porライティングシート2枚orドリル ○社会復習プリント ○理科予習レポート	
4	日	市P連バレー大会				
5	月	交通指導	数学		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
6	火	生徒会役員選挙	英語		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	【授業日の課題】
7	水	校内研		○	漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	国語:①重要ポイントメモシート3行 ②文法・言語事項の振り返り10問 英語:①文法ポイントの定着確かめプリント 社会:①社会科ワーク、教科書本読み
8	木		数学		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
9	金	幡道研	国語 意見文		○漢字ノート2P、○自主学習2P ○小社会ノート1P、記述プリント、語彙プリント ○数学週末復習プリント	
10	土				○英単語ノート2Porライティングシート2枚orドリル ○社会復習プリント ○理科予習レポート	
11	日					
12	月		数学		漢字ノート(語彙力アップ)1P、 数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
13	火		英語		漢字ノート(語彙力アップ)1P、 数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	【授業日の課題】
14	水	校内研		○	漢字ノート(語彙力アップ)1P、 数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	国語:①重要ポイントメモシート3行 ②文法・言語事項の振り返り10問 英語:①文法ポイントの定着確かめプリント 社会:①社会科ワーク、教科書本読み
15	木		数学		漢字ノート(語彙力アップ)1P、 数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
16	金		国語 コンテスト		○漢字ノート2P、○自主学習2P ○小社会ノート1P、記述プリント、語彙プリント ○数学週末復習プリント	
17	土				○英単語ノート2Porライティングシート2枚orドリル ○社会復習プリント ○理科予習レポート	
18	日	廃品回収				
19	月	三者面談	数学		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	【授業日の課題】
20	火	三者面談 交通指導	英語		漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	国語:①重要ポイントメモシート3行 ②文法・言語事項の振り返り10問 英語:①文法ポイントの定着確かめプリント 社会:①社会科ワーク、教科書本読み
21	水	校内研		○	漢字ノート1P、数学プリント、英単語ノート1P、自主学習	
22	木	終業式			冬休みの宿題	
		【冬休み中の補習予定日】 12/26,27,28 1/5,6			【1月の予定】 10日 始業式・校内研 11日 県版学力調査 18日 読み聞かせ、職員会 19日 具同小体験入学	25日 小中交流会 26日 わたりに会参観日(人権) 27日 専門部会 30日 つどい

(参考事例4) 長期休業中の宿題一覧表〔清水中学校〕

夏 休 み 宿 題 一 覧 表

	1年	2年	3年
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みワーク 二学期に確認テストをします ・読書感想文(専用紙3枚以上5枚以内) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク 11, 12, 13 ・漢字1000字 ・夏休みワーク 二学期に確認テストをします ・読書感想文(専用紙3枚以上5枚以内) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みワーク 二学期に確認テストをします ・読書感想文(専用紙3枚以上5枚以内)
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク「地理①」 P71、73～75 (丸つけをして提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークP66～69 (答え合わせをして提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の学習1冊 ・税の作文
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みワーク (答え合わせをして提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 (丸つけ、直しをして提出、夏休みあけに問題集の内容でテストを行います) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みワーク (丸つけ、直しをして提出)
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク P39まで(やっていないところ全てやってくる) ・プリント (答え合わせをして提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク P49まで (やっていないところを全てやってくる) ・宿題プリント(答え合わせをして提出) 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 P100まで ①～⑩の基本、A問題をすべてやってくる
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・風景画(1学期に完成していない人) <p>午前中は 7/20, 21, 25, 26, 27, 28, 29 8/8, 9, 10, 12, 22, 23, 24, 25, 26の午前中で、都合の良い日に美術室に来てください。 8/8は午後も可です。なお、家に持って帰ってやりたい人は、相談して下さい。</p>		
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知これ単」30～27級(P5～28)をノートに20ページする。 ・語順トレーニングP2～7 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知これ単」27～24級の練習をBノートに20ページ ・宿題プリント ・予習 Program 5,6 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知これ単」23級～20級(P53～83)の練習:ノート20ページ分
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みあけにぞうきんを作るので、使い古しのうすいたオルを2枚とさいほう道具を持ってくること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁の使い方、食材の切り方を練習しておく。 	
保体	<ul style="list-style-type: none"> ・外で思い切りみんなと遊ぼう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外で思い切り遊ぶ。ゲームはほどほどに。 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・人権作文(原稿用紙3～5枚) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきん2枚

※読書感想文は登校日に提出。

※その他の宿題は、始業式に提出して下さい。

(参考事例5) 長期休業中の宿題ができなかった生徒への対応の確認 [中村中学校]

宿題ができていない児童生徒への追指導について共通確認を明確化している事例です。特に中学校では、部活動との関連が大きいため、学校としての対応を決め、共通確認しておくことが大切となります。

冬休み宿題一覧表・宿題ができていない生徒への対応について

四万十市立中村中学校

教科	学年	内容	提出日	対応
国語	1年	①国語プリント(冊子) ②漢字ノート(200字)10ページ	1/10 (火)	<p>※冬休み中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補習等で声かけをする ・部活動の生徒は、顧問の先生を中心に声掛けをする ・心配な生徒は、1月4日～6日の補習後の学習室に来てやらせる
	2年	①国語プリント(冊子) ②漢字ノート(200字)10ページ		
	3年	①国語プリント(冊子) ②漢字ノート(200字)10ページ ③問題集(P120～P137) ※第5回実力テストに向けての勉強		
社会	1年	①基本問題集のプリント(5枚両面) ②ワークP. 26～P. 43(文化のところはしなくてよい)⇒マルつけをして提出すること	1/10 (火)	<p>※冬休み明け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月10日(火)に教科担任等で宿題の点検・名簿作成する ・1月11日(水)からは部活動に行かず、宿題を仕上げる
	2年	①基本問題集のプリント(5枚両面) ②ワークP. 34～P. 45⇒マルつけをして提出すること		
	3年	ワークP. 86～P. 97 【公民的分野】の復習		
数学	1年	①A問題集プリント(5枚) ※過去問題プリントを1月6日の加力学習のときに配ります	1/10 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・1月11日(水)から各学年で対応する ・水曜日は学習支援さんにも対応してもらう
	2年	①A問題集プリント(8枚) ②過去問題プリント		
	3年	①問題集(P108～111、P114～115) ②入試対策プリント(6枚) ※第5回実力テストに向けての勉強		
理科	1年	①過去問題 ②復習問題プリント(A4版で8枚両面)	1/10 (火)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1月11日(水)～放課後は宿題を優先する。冬休みの宿題が終わるまでは、部活に参加できない。 </div>
	2年	①復習問題プリント(A4版で10枚両面)		
	3年	①問題集(3年生の基本のページをすべて解く) ※残りも出来る限り入試に向けて解いておく。		
英語	1年	①過去問題 ②プリント集(A4版で10枚)	1/10 (火)	
	2年	①過去問題 ②プリント集(A4版で10枚)		
	3年	①英語プリント(ライティングシート中心にA4版20枚) ※第5回実力テストに向けての勉強		

(参考事例6) 英語科の求める4つのレベルの共通確認資料〔中村中学校 英語科〕

教科会として、児童生徒に求める学習内容（レベル）の共通理解を図っている事例です。よい家庭学習のノートとはどのようなものであるかを、事前に全教員が共通確認しておくことは大切です。

また、家庭学習（見つけ）ノートのグッドノートの紹介等をしている学校も多いと思いますが、その際は「どんな点がよいのか」を付加して紹介し、児童生徒とも共通理解を図りましょう。

家庭学習（宿題）で英語の力をパワーアップしよう！！



1 「楽しくて力のつく」英語ノートとは？

皆さんは、現在どんなノート練習をしていますか？単語や英文を書いて覚えていますか？英語の勉強の仕方が分からない、という人はいませんか？中英語科では、2学期から皆さんの英語力がよりパワーアップできるよう、家庭学習（宿題）のやり方を考えました。

方法（内容）は、次のように4つあります。基礎学習の「レベル①」（まとめ）から発展学習の「レベル④」（自己表現）です。発展的に力がつく順に並んでいます。毎日自由に選んで取り組んでください（自己選択）。レベルは毎回同じでなく、様々なものに取り組むことでバランス良く力がつきます。毎回ノートの最初に「レベル名」と「タイトル」を書きます。自分がしている学習がどんな力をつけるものなのか、その段階が分かるようになります。英語の学習法も学べるのです。

2 「ノート」トレーニング法4つ（この4段階が実は「英語の学習法」。いろいろなレベルに取り組もう。）

☆ レベル① 【まとめ】（ポイント整理） ←新しいこと
＜やり方＞

・授業ノートやワーク、プリント、教科書などから重要
してみる。

例) 習った文法についてまとめる / 予習として
本文を書き、日本語訳を自分でやってみる（ス

☆ レベル② 【暗記練習（とテスト）】（音読筆写） ←し
＜やり方＞ 覚えたい英文や単語を「音読しながら」書く。英

- ① ノートに、「赤ペン」で覚えたい英文を正しく書く。
 - ② その下に、音読をしながら、なるべく速く丁寧に5回
 - ③ 顔を上げて（何も見ないで）その英文を言えたら、次
- *練習した後は、必ず「自己テスト」で確認をしよう。**

☆ レベル③ 【パターン練習】 ←新しいこと（文法など）を習った日の「練習」として！
＜やり方＞

◎ 習った文の一部（単語）を変えて、自分に関係する文にしてみる。

例) He likes baseball. → Ms. Hirota likes music.

- ・基本文のパターン練習文を15文（1年生は13文）書く。
- ・「問題集（ワーク・英検等）を解く」のも「パターン練習」の1つ。

☆ レベル④ 【自己表現】（覚えた文を使ってみる） ←英語力アップの究極メニュー（実力
テスト対策にも）！

＜やり方＞

◎ 習った英語で自分のことや友だちのこと、家族のことを説明してみる（書いてみる）。習った英語を活用する力！辞書やこれ単も積極的に使おう！！

例) 英語日記 / 好きなもの紹介（私の地域は〜） / 修学旅行新聞 など

※その他…その日の授業で分からなかったこと、質問したいこと、授業でこんなことをしてみたい、などを一言書いてもかまいません。

3 ノートの書き方は？

(例) レベル②「暗記練習（とテスト）」

Tuesday, September 1st
レベル②「暗記練習」
「私はサッカーが好きです。」
I like soccer. I like
soccer. ...
I like soccer. I like
soccer. ...
(テスト)
「私はサッカーが好きです」
I like soccer. ○

① 日付を書く（「曜日、月、日にち」の順）
(曜日 Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday,
Thursday, Friday, Saturday)
(月 January, February, March, April, May,
June, July, August, September, October,
November, December)
枠外に書く！

② その日のレベルとタイトルを書く
(どのメニューに当たるのか迷ったときは、近いメニューを書いておく)
→この学習が何のための学習か分かるようになる。英語学習法が身につく！

(参考事例7) 家庭学習参観日の実施〔三原小学校〕

三原小学校では、家庭学習の意義や重要性、効果的な取組とするための留意点等を保護者と共通理解を図り、家庭学習の充実につなげるために、毎年「家庭学習参観日」を実施しています。

< 平成28年度「家庭学習参観日」日程 >

- 教科の授業参観
- 家庭学習の内容発表・充実に向けての話合い等の参観
- 家庭学習に関する講演会（保護者対象）
- 学級懇談



第 2 章

「家庭学習の手引き」の作成・見直しのために

「家庭学習の手引き」をもとにした指導が有効です！

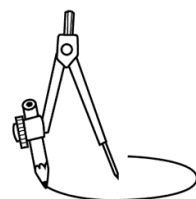
家庭学習を意味あるものとするには、「なぜ家庭学習が必要なのか」「どのように行えばよいのか」などを児童生徒自身が理解しておく必要があります。

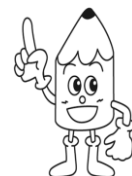
指導に当たっては、各学校で「家庭学習の手引き」を作成し、それを基にした指導を行っている場合が多いと思います。

「家庭学習の手引き」は、児童生徒がよりよい家庭学習の取組のための手掛かりとしたり、取組を振り返ったりする際にも非常に有効であると考えます。

ここでは [「家庭学習の手引き」の作成・見直しのために] として、各学校での家庭学習を見直すためのヒントを紹介しますのでご活用ください。

なお、内容においては、小学生向けと中学生向けの表現や資料が混在していますので、学校種や作成の意図に合わせてご活用ください。





家庭学習の目的や意義を伝えましょう

「なぜ家庭学習が必要なのか」等、目的や意義を児童生徒自身が理解することで、「やられる家庭学習」から「自分からやる」家庭学習へと変化させましょう。



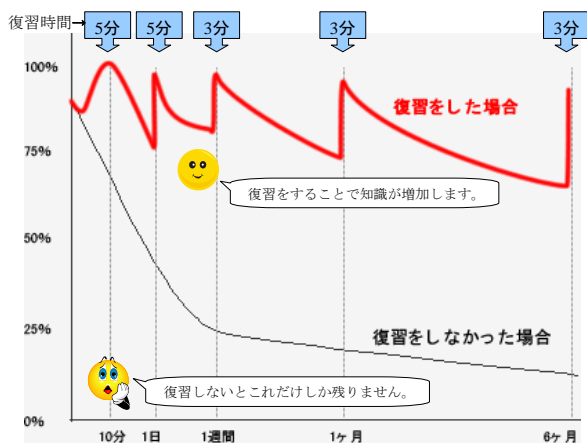
① 学習する習慣が身に付きます。

小さいうちから毎日机に向かうことは、学年が進むにつれて高度になる学習内容の確実な習得へ向けてとても大切になります。そのため、学校での学習以外にも家庭で学習する習慣を形成していくことが、とても大切になります。

② 学んだことが身に付きます。

漢字の「読み書き」や算数・数学の「計算」、英単語などを確実に身につけるためには、何度も繰り返して定着させることが重要です。

心理学者エビングハウスの研究によれば、完璧に覚えたつもりでも1日たてば7割以上が記憶から消えてしまうと言われています。しかし、反復することで忘れる割合は大幅に低くなることも、心理学者のラッセルによって証明されています。



③ 夢の実現につながります。

家庭学習を工夫しながら行うことで、「もっと速く、正確にできるようになりたい」「自分で工夫してまとめてみたい」「他のことも調べてみたい」などという学ぶことへの意欲にもつながります。また、毎日確実にやり続けることで、時間の管理や自分の行動を管理できるようになります。

これらは、進学や進路のためだけではなく、将来にわたって非常に大切なことであり、よりよい生き方、夢の実現につながります。

(参考事例) 家庭学習の意義について [佐賀中学校]

1 なぜ勉強をしなければならないのでしょうか。

- ★自分の夢をかなえ、将来自分のやりたい職業につくため。〈自己実現〉
- ★周りの人を助け、みんなに喜んでもらえる人になるため。
〈他者とのつながり〉
- ★自分に誇りを持ち、人らしく豊かに生きていくため。
〈自分らしさ・人らしさ〉

以上のように、人として豊かに生きていくためにも、勉強することはとても重要なことです。

勉強は大人になってもできますが、小学校や中学校時代に身につけた基礎的な学習内容や勉強の仕方、勉強への意欲や態度は、将来自分が進みたい道が決まったとき、目標に向かって努力していこうというエネルギーの源となります。

また、小学校や中学校時代に行う勉強は、みなさんの脳の発達から考えても、大切であると言われています。

つまり、「小学校や中学校で行う勉強は、みなさんのこれから先の人生の宝物になる」ものなのです。

このことをしっかりと頭に入れて、この「学びのしおり」を読み、中学校での学習をすばらしいものにしていきましょう。

2 なぜ家庭学習をしなくてはならないのでしょうか。

学習したことがしっかりと頭に残り、自分のものになるためのポイントは、「繰り返す」ことです。一度聞いただけ、一度解いただけでは自分の力として身につけません。

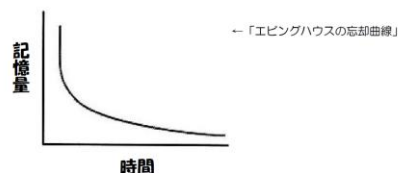
当然のことですが、中学校での学習で一番大切なのは「授業」です。授業の50分間をどう過ごすのが最も重要です。しかし、小学校の時と違って、学習する内容が難しくなり、進み方も速くなってきます。したがって、家庭での予習や復習を続けて行わなければ、授業の内容がわかりにくくなったり、学習したことが身につかなかったりするのです。

そこで、中学校での各教科の授業の受け方、家庭学習の仕方やポイントをまとめました。授業で学習したことをしっかりと自分のものにするために、また、学習の方法をしっかりと身につけるために、「学びのしおり」をもとに、中学生らしい学習を進めていきましょう。

1



「人間の記憶は指数関数的に減少する」



心理学者エビングハウスの実験によると、人の記憶は

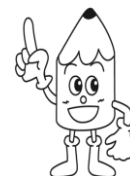
20分後 におよそ **42%** を忘れ

1時間後 でおよそ **56%**、

9時間後 でおよそ **64%** を忘れ、その後少しゆるやかに

6日後 にはおよそ **76%** を忘れてしまうそうです。

完璧に覚えたつもりでも、その後に復習をしなければ、**6日後には24%しか残っていない**ということになります。



学校として求める学習時間のめやすを伝えましょう

西部教育事務所では、毎日の家庭学習時間のめやすとして、以下の時間を提案しています。

学年 × 10分 + 10分

(例) 小学4年生 … $4 \times 10 + 10 = 50$ 分

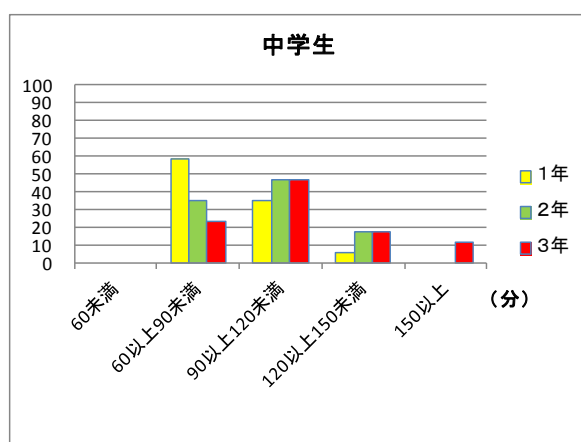
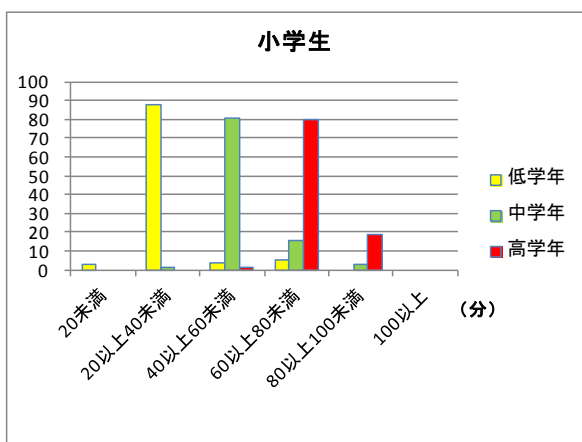
中学1年生 (小6年+中1年=7年生として計算)
 … $7 \times 10 + 10 = 80$ 分

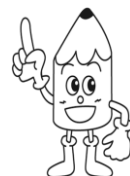
* 休日や夏休みなどに自由に使うことのできる時間が確保できるのであれば、さらに30～60分程度増やせるように指導しましょう。

【資料】

各学校で目安としている各学年の家庭学習時間 (西部管内)

家庭学習状況調査 (H28.5実施) より





生活リズムの中に学習を位置付けるよう働きかけましょう

曜日別の日程表を盛り込み、個々の生活リズムに合わせた家庭学習の予定時間帯を記入させるなどの方法が考えられます。



家庭学習を習慣化するためには、できるだけ同じ時間帯に学習し、生活リズムの中に学習の時間を位置付けることが大切です。

毎日の勉強時間帯を決めましょう

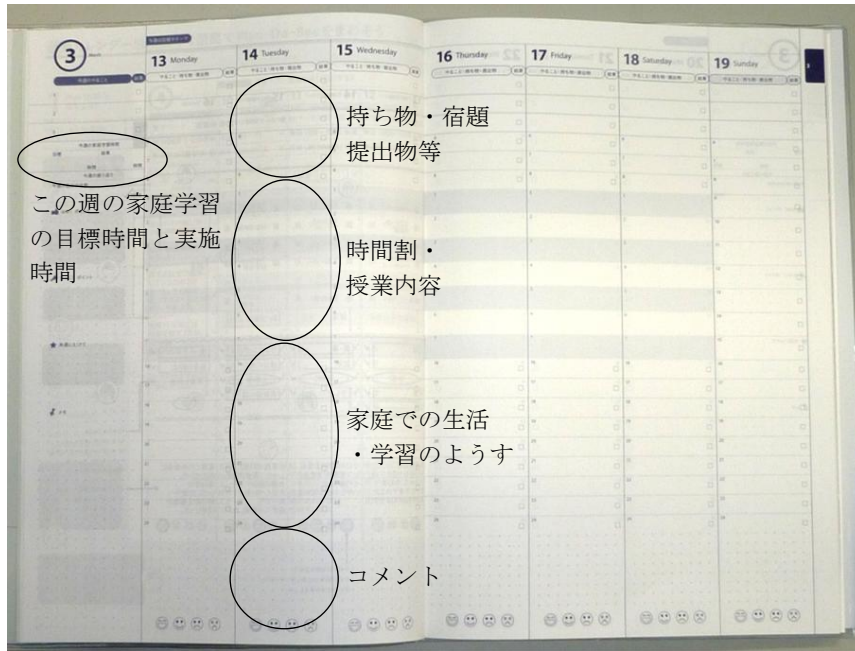
	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時
例	学校(部活)					勉強		

月	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時
火								
水								
木								
金								

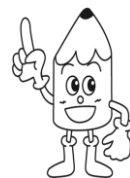
土	9時	10時	11時	12時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時
日															

(参考事例) 家庭学習の推進を意図した生活日誌の様式 [清水中学校]

「家庭学習の手引き」ではありませんが、家庭学習の取組の充実を図るために、生徒が毎日記入し担任が点検する生活日誌を活用した事例です。

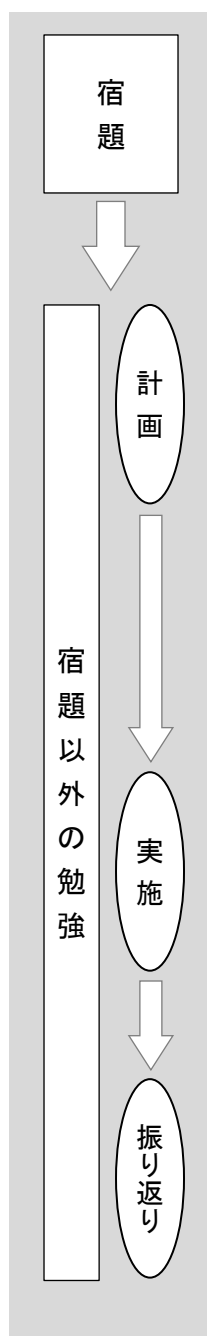


	2/20 Monday	2/21 Tuesday	2/22 Wednesday	2/23 Thursday	2/24 Friday	2/25 Saturday	2/26 Sunday
1. テスト勉強	⑩ 漢字 100字	⑩ ⑩10-⑩②	⑩ ⑩10-⑩②	⑩ ⑩10-⑩②	⑩ ⑩10-⑩②		
2. 宿題	⑩ プリント 1枚	⑩ プリント 1枚	⑩ プリント 1枚	⑩ プリント 1枚	⑩ プリント 1枚		
3. 自主学習	⑩ ⑩	⑩ 漢字 100字	⑩ 漢字 100字	⑩ プリント 2枚	⑩ ⑩		
4. 自主学習	⑩ ⑩ プリント 3枚			⑩ ⑩	⑩ 自主学習		
5. 国	⑩ 文法テスト ⑩ ABC 5	⑩ 確率 ⑩ AAB 4	⑩ 理 ⑩ 大数 ⑩ AAA 5	⑩ 数 ⑩ 確率 ⑩ AAB 4	⑩ 社 ⑩ P.172~ ⑩ AAA 5		
6. 音	⑩ 合唱 ⑩ ABC 5	⑩ 英 ⑩ ⑩10-⑩② ⑩ ABC 4	⑩ 体 ⑩ バスケ ⑩ P.169~189 ⑩ BBB 30	⑩ 理 ⑩ テスト勉強 ⑩ AAA 5	⑩ 数 ⑩ 確率 ⑩ AAA 5		
7. 英	⑩ ⑩10-⑩② ⑩ AAB 4	⑩ 国 ⑩ テスト勉強 ⑩ AAB 4	⑩ 社 ⑩ P.169~189 ⑩ BBB 30	⑩ 英 ⑩ ⑩10-⑩② ⑩ ABA 4	⑩ 体 ⑩ バスケ ⑩ ADA 4		
8. 社	⑩ P.166~ ⑩ AAB 4	⑩ 美 ⑩ 点描 ⑩ ACA 4	⑩ 技 ⑩ 習字 ⑩ AAA 5	⑩ 体 ⑩ バスケ ⑩ ADA 4	⑩ 国 ⑩ テスト勉強 ⑩ AAA 5		
9. 理	⑩ 天気の变化 ⑩ BAA 4	⑩ 体 ⑩ バスケ ⑩ AAA 5	⑩ 英 ⑩ ⑩10-⑩② ⑩ ABA 4	⑩ 技 ⑩ テスト勉強 ⑩ ABA 4	⑩ 縦 ⑩ テスト勉強 ⑩ AAA 5		
10. 統	⑩ テキスト ⑩ AAA 5	⑩ 理 ⑩ 天気の变化 ⑩ AAA 5	⑩ 学 ⑩ 習字 ⑩ ABA 4	⑩ 縦 ⑩ テキスト ⑩ AAB 4			
11. 総合・帰宅	⑩ 総合・帰宅	⑩ 総合・帰宅	⑩ 総合・帰宅	⑩ 総合・帰宅	⑩ 帰宅		
12. テレ	⑩ テレ	⑩ 昼	⑩ テレ・ゲーム	⑩ 昼	⑩ テレ		
13. 宿題	⑩ 宿題	⑩ 帰宅	⑩ 自主学習	⑩ 昼	⑩ 宿題		
14. テレ	⑩ テレ	⑩ テレ	⑩ 宿題	⑩ 帰宅	⑩ 宿題		
15. 宿題	⑩ 宿題	⑩ 宿題・勉強	⑩ 宿題	⑩ 宿題	⑩ 宿題		



家庭学習の進め方を明確にしましょう

家庭学習は「どのような手順で」「どんな内容をすればよいのか」等も伝えましょう。特に、宿題以外の学習では、「予習」についての大切さも伝えていきましょう。



まずは学校の宿題を行うことが大切です。



宿題の次に、自分で決めた内容の学習を行います。

① まず授業で分かったこと、分からなかったことを振り返り、その日の家庭学習で取り組む内容を考えます。

* 教科書や問題集の問題を解く。

* ノートをまとめ直す。

* テストをもう一度解く。等

小学校高学年から中学生は「予習」にも取り組みましょう。

* 次に習うところの教科書を読む。

* 読めない漢字や難しい語句、単語の意味を辞書を使って調べる。等



② 決めた内容について学習します。



③ 家庭学習自体の振り返りを行い、「どのくらい達成できたか」「分からないところはどこか」を明確にし、次の授業で注意するポイント、先生や友達に質問する事項を整理して書き出します。

(参考事例) 見つけ勉強・自主学習についての取組内容例の提示〔清水小学校〕

こんなことしてみよう!

(みつけべんきょうのしかた)

<算数>

- けいさんをする
- 2年生は九九をおぼえる
- きょうかしょやドリルの
もんだいをとく
- じぶんでもんだいをつくる
・けいさんのもんだい
・えやぶんのもんだい
- じょうぎのれんしゅう
・せん、ながさ、かたち など

<生活>

- いきものかんさつ
- ずかんでしらべたり
はっけんしたことを
かく
- ニュースから など



ていねいに
かこうね。

<国語>

- 音読
- ・大きなこえ
- ・きもちをこめて
- ・あんしょうにもちようせん
- 字やかん字をれんしゅうする
- きょうかしょをうつす
- えにつきやにつきをかく
・「てにまはし」をつかっ
・「
・じ

<その

- けんば
- リズム
- なわと
- じゅう
- ラジオ

*プリントや問題集の活用だけ
でなく、**教科書の活用**を促し
ましょう。

こんなことしてみよう!

(自主学習のしかた)

<算数>

- 今日の学習を思い出して、もう一度やってみよう(復習)
- 明日学習するところを、自分で考えてみよう(予習)
- 教科書の問題や、にている問題をつかってやってみよう
- ・ドリルや問題集をする
- ・文章問題をとく
- ・計算練習をする
- ・問題づくり
- ・図形を描き、面積や体積を求める

<国語>

- ・教科書を音読する
- ・視写をする
- ・漢字練習をする
- ・作文や日記を書く
- ・言葉や漢字を辞典で調べる
- ・四字熟語、慣用語、ことわざを調べる
- ・ローマ字の練習をする
- ・新聞を読んで感想を書く
- ・詩や俳句、短歌を暗唱する
- ・方言を調べまとめる
- ・読書をする

<社会>

- ・教科書や資料集の大切なところを書き写す
- ・地図帳で地名を調べる
- ・各地の名産品を調べる
- ・歴史年表をつくる
- ・ニュースを見て内容を書く
- ・好きな歴史上の人物について調べまとめる
- ・世界の国名や首都などを調べる

*高学年以上は、**予習**にも取り
組むように指導しましょう。

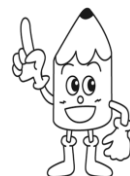
自分のための学習を しよう!!



<理科>

- ・教科書を読み、大切なところを書き写す
- ・実験方法について考える
- ・実験結果についてもう一度ふり返って考える
- ・新たな疑問やふしぎに感じたことを事典などで調べる
- ・自然や生きものを詳しく観察したり、調べたりする





家庭学習の心得を伝えましょう

「やりなさい！」だけでなく、 「このようにやりましょう！」

ある調査*において、「家庭学習時間は平均より長いが、成績は下位層という生徒が約12%」もいたという結果がありました。

このことから、単に学習時間を掛けさせさえすれば学力が上がるというものではないことが分かります。ただ単に「やりなさい」「机に向かいなさい」という指導ではなく、家庭学習を確実に学力に結び付けるための「やり方の指導」も不可欠です。

家庭学習をどのようにやればよいのか、どんなことに気をつければよいのかを丁寧に伝えましょう。

注) *ベネッセ教育総合研究所による調査



① 学習の前に、集中して学習ができる環境を作りましょう。

勉強する場所をきれいにし、テレビやゲームのスイッチも消して学習しましょう。

(参考事例)
〔大月小学校〕

家庭学習の手引き(3・4年生)
大月町立大月小学校

家庭学習をはじめる前に

- 勉強する場所や、はじめる時間を決めましょう。
- 机の上やまわりを整理整頓しましょう。
- テレビや、音楽などを消しましょう。

集中して、45分以上はがんばりましょう。

○宿題があれば、まず宿題からしましょう。

そのほかの学習

★読みの練習



② 宿題から先にやりましょう。

宿題は、その日に学習したことをもっとしっかり習熟することをねらったり、これまでに学習したことをもう一度復習した方がよいと考えたりした場合などに出されます。また、次の日の授業のための宿題もあります。やることで、みんなに効果があると考えたものを宿題に出していますので、必ず、宿題を先にやりましょう。

③ 「覚える学習」と「考えたりまとめたりする学習」を交互に行いましょう。

これらの学習では脳の違う部分を使います。同じ学習を続けると、脳の同じ部分ばかり使うことになり、脳も疲れます。「覚える学習」と「考えたりまとめたりする学習」を交互に行うことで、脳の異なった部分を広く使うことになり、効率のよい学習につながります。

(例)

覚える学習	単語や漢字、地名、年代、重要語句などを覚える。 文章などを暗記する。
考えたりまとめたりする学習	計算や文章題を解く。 長い文章を読んで問いに答える。 教科書や資料等を読みながら、ノートにまとめる。

④ 漢字や英単語を書くことが「作業」にならないようにしましょう。

漢字や英単語を覚える際に、「書いて覚える」ことは大切です。でも、1度に何回も繰り返して書き、ノートを埋めることが目的になっていませんか？ その場合、単なる手の運動（作業）で終わってしまう場合があります。必ず、覚えたかどうか、書いたものを隠して本当に書けるかどうかの確認（自己テスト）を行いましょう。



⑤ 小学校中学年以上は、「答え合わせも自分で」行いましょう。

答え合わせは「正解」「不正解」を確かめるだけの活動ではありません。学習内容の理解に関わる重要なものです。

特に「不正解」だった問題については、「どこが違っているのか」「どうして違ってしまったのか」を丁寧に探り、再考することで、確かな理解や確実に覚えることにつながります。答えだけを写すのではなく、なぜ間違ったのか、どうしてそのような答えになるかをメモしておきましょう。

部活動などは、試合に負けた後、なぜ負けたのかをみんなで話し合っ分析し、それを踏まえて今後の練習計画を考えますよね。同じことを学習場面でも行うことが、学力を高める鍵になります。

(例)

He must (clean) his room now.

↓

なぜSがつかないのか?

mustの後は動詞の原形を置くから

助動詞… can, willのときも同じになる。

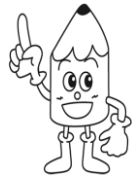
} 次に正答するための方法(ポイント)を、できるだけ自分の言葉で書きましょう。

⑥ ノートの「まとめ直し」がノートの「写し直し」にならないようにしましょう。

学校で学習した内容を、もう一度整理しまとめ直すことはとても有効です。しかし、授業のノートなどを単に写し直すだけでは④と同様に「作業」になってしまいます。

ノートのまとめ直しをする場合は、次のことに気をつけましょう。

- ・授業ノート(黒板や教科書)の丸写しではなく、自分の言葉で書きましょう。
- ・理由や根拠、自分の気付きを書き加えましょう。
- ・学習事項の関連性を考えてまとめたり、それらを表や図を用いて整理したりしましょう。



保護者をお願いしたいことを載せ、協力を得ましょう

児童生徒の家庭学習の実施、充実には、家庭の方の励まし等の声掛け、点検等による協力が不可欠となります。

家庭学習の取組について、保護者へも十分な説明を行いましょう。



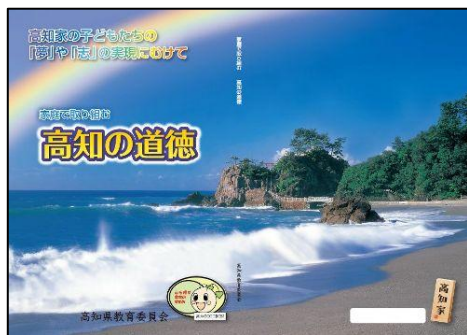
おうちの方へ

一人一人の児童生徒の帰宅後の生活スケジュールは異なります。各家庭で、どの時間帯に学習することがよいのかを話し合ってください、「わが家のルール」の1つとして決めることが有効であると考えます。

(例) 「帰宅したら、まず宿題。」

「塾、習い事のある日は、〇時から。無い日は 〇時から。」 等

「家庭で取り組む 高知の道徳」も活用しましょう。



自分をもっと
かがやくために、
できることは
自分でやり、
自分からすすんで
気持ちのよい生活を
つくっていきこう！

「高知の道徳」は
平成29年度改訂版が出されます。

1 自分をみがき、もったかがやこう

1 自分自身のかかわり

家庭版「心のノート」

子どもと一緒に考えた、話し合った、調べたりしたことを書き込んでいきましょう。子ども自身が書いてもいじょうよ。

自分の健康は自分で守ろう

●好き嫌いをなく食べる。
●外から帰ったら、うがい、手洗いをする。

自分で身の回りをきれいにしよう

●身の回りの整理・整頓をする。
●自分で掃除をする。

自分で上手に時間を使おう

●早ね早起きをする。
●時間を決めて、勉強や遊びをする。

自分から進んで学習しよう、体をきたえよう

●予習や復習をする。
●外に出て、かいつばい遊ぶ。

ほかに、どんなことがあってもいい。

高知DOORON

27

(参考事例) 保護者向け家庭学習の手引きの作成、配布〔三原小学校〕

家庭学習の手引き(保護者用)

家庭学習の目的は、どの子にも「家庭での学習習慣を定着させる」ことです。

そして、学校で学習したことをしっかりと身につけるためにも、自ら学ぶ習慣をつけることが大切です。

小学校のうちに机に向かう習慣が、後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身につけさせましょう。

1. 家庭学習のさせ方

- ①担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ②時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。
- ③勉強が終わったら、連絡帳に勉強の記録をし、次の日の準備をさせてください。

2. 時間のめやす …目標の時間は学習できるようにしましょう

1年…20分以上	2年…30分以上
3年…40分以上	4年…50分以上
5年…60分以上	6年…70分以上

3. 学力アップは、規則正しい生活から

- 早寝・早起き ○朝食は必ずとる ○朝の排便
- テレビは、見る時間を決めましょう。
- (ゲームをする時間も入れて、多くても2時間以内が理想的です。)
- 学習の準備をきちんとしましょう。

*学習のポイント

- ・机の上をきれいにしておく。
- ・テレビを見ながらしない。
- ・よい姿勢でする。
- ・集中して最後までやりきる。

4. お願い

- お子さんが落ち着いた学習環境で勉強できるように、各家庭で工夫し、話し合ってください。
- 声をかけたり、ほめたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気がでます。お子さんの様子を把握しながら、気にとめてあげてください。
- お子さんが、困っていたり悩んでいたりましたら、小さなことでも担任にお知らせください。

三原小学校「家庭学習への取り組みスローガン」

「テレビ消し 家族でつくる 学習タイム」

*幡多地区小学校PTA連合会でも同じようなスローガンを確認して進めています。



參考資料



平成26年度文部科学省委託研究

学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究
(効果的な指導方法に資する調査研究)

(平成27年3月 お茶の水女子大学)

高い成果を上げている学校に共通する7つの特徴

1 家庭学習指導

- ・宿題＋自主学習、自分の関心に沿った学習と弱点を自分で発見し補充する学習
- ・小学校では特に丁寧な指導を行う
- ・必ず教師が読み、手を入れ、子どもに返す

2 管理職のリーダーシップと同僚性の構築、実践的な教員研修

- ・教科を越えた研究授業、授業の見せ合いから同僚性へ
- ・学校内外に授業を見に行く、県内外にかかわらず研修に出かける

3 小中連携教育

- ・教育課程や学習習慣等の面で小中が連携し、系統性を持った指導を行う
- ・特に中学校で成果

4 言語に関する授業規律や学習規律の徹底

- ・書くこと、話すこと、聞くことを大切にする
- ・ノート指導

5 学力調査の活用

- ・学校の課題を明確にする際に活用

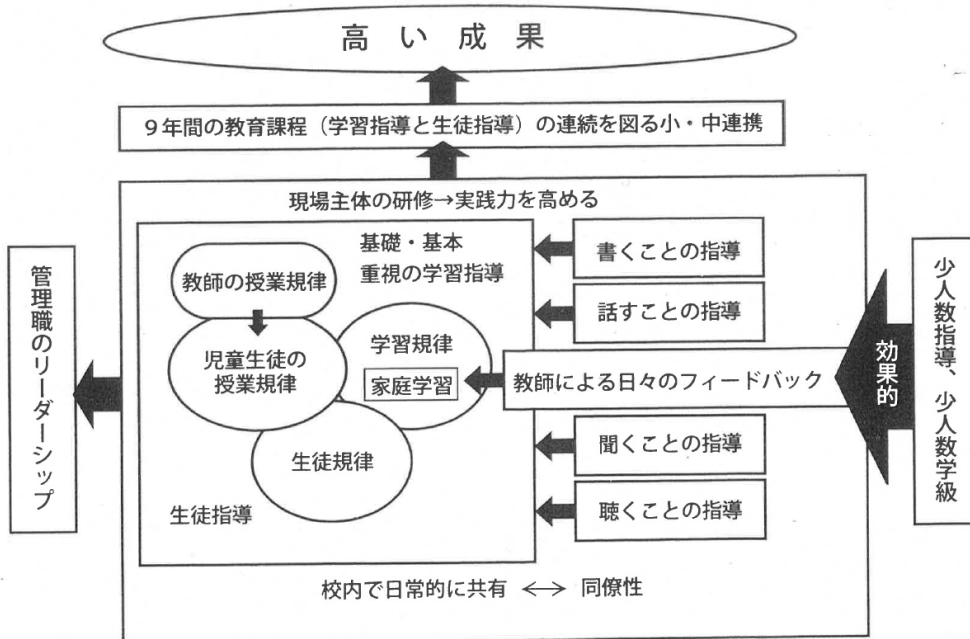
6 基礎基本の定着の重視と、少人数指導、少人数学級の効果

- ・発展的な学習よりも、基礎基本の定着の方を重視
- ・TTや少人数指導を全校が支持

7 放課後や夏季休業期間中の補習

- ・全ての教員が担う場合と、地域有償ボランティアが担う場合がある

高い成果を上げた学校の取組の特徴の関係性



平成26年度文部科学省委託研究
 「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究(効果的な指導方法に資する調査研究)」

(概要)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/112/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2015/07/31/1359819_1.pdf

(報告書)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/112/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2015/07/31/1359819_2.pdf

あなたの学校の家庭学習に対する指導を点検してみましょう。

家庭学習見直しの手引き

学校としての宿題になっていますか？

すべての教員で宿題についての共通理解が図られ、組織的に取り組んでいる。

- ・今出している宿題は、学校で決めた家庭学習の目的に合っていますか？
- ・家庭学習の内容、量、時間については、学年に応じたものになっていますか？

県や市町村、学校の課題を踏まえた宿題になっている。

- ・学力調査結果を踏まえ、各教科の内容・量を決めていますか？

宿題についての調整や管理、見直しがされている。

- ・主幹教諭や教務主任、研究主任など、宿題についての取組を管理する担当者が明確になっていますか？
- ・今行っている宿題が児童生徒の学力向上につながっているか協議したり、見直したりする機会がありますか？

年度が変わっても、各学年の基本的な宿題は変わらない確認・体制がとれている。

- ・担当教員の考えで宿題内容・量が決められており、年度が変われば（担当教員が変われば）その学年・教科の宿題の量が大きく変わっていませんか？

宿題の量は適切ですか？

学校で定めている家庭学習時間の目安に対して、宿題の量が適切である。

- ・90分以上の家庭学習時間を目安としている学年の宿題が、30分程度で終わる量になっていませんか？

宿題への適切な指導がされていますか？

自主学习ノート（見つけ勉強）等を課している場合、その取り組み方の指導をしている。

- ・児童生徒はページを埋めることに力を注いでいませんか？（単なる作業になっていませんか？）
- ・学校としての目的が達成できるよう、自主学习の内容の指導と評価を行っていますか？

児童生徒が見通しをもてるようになっていますか？

児童生徒が見通しをもって、計画的に取り組める手立てがとられている。

- ・宿題の計画表（カレンダー）を配付するなどして、児童生徒が見通しをもてる工夫がありますか？

《 備考 》

*本手引きでは「家庭学習」を「宿題」と「宿題以外の家庭学習」とし、通塾による学習は含めていません。

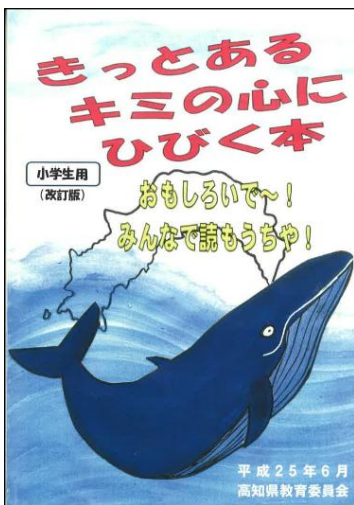
また、「宿題」とは教師が家庭学習として与えた課題とします。

（例）自主学习（見つけ）ノート等、内容・量は指定しなくても、必ず提出を指示している場合は宿題とします。

読書活動の推進について

子どもたちにとって読書は、人生について深く考える機会を与えてくれるなど、人間形成のうえで大きな役割を担っています。読書により、広い世界を知り、豊かな心と感性を身に付けた子どもは、人との絆を育み、人生をより深く、強く生きることができると考えます。また、知的好奇心を支え、考える力や表現力を育むことも本の持つ大きな力です。

家庭での読書活動も推進していきましょう。



毎月23日には 本を読もう!



4月23日は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、「子ども読書の日」と定められています。この日にちなんで、毎月23日には、家庭で子どもといっしょに本を読む時間をつくってみませんか。



高知県教育委員会 西部教育事務所
〒787-0029 高知県西万十郡中村山字通19 種多総合庁舎内
電話 0880-34-0866 FAX 0880-34-3921 MAIL seibu-otkochin.ed.jp
※この件に関して質問等がございましたら、気軽にご連絡ください。

「きっとあるキミの心にひびく本」は平成29年度改訂版が出されます。

西部教育事務所

平成 29 年 4 月

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310307/>